

9月定例山行 荒谷山(631m) 安佐南区長楽寺

9月16日(日) ☆ 晴

参加者 11名 CL小林愷子 SL竹野栄子
宮木(一) 藤本 花岡 秋信 花房 田所 川村 若林 瀬藤(会友)

コースタイム アストラム長楽寺駅 9:00→9:30 登山口 9:50→10:40 不動院 10:50
→11:40 荒谷山頂 13:00→14:00 あさひが丘へ下山

報告

朝から澄んだ秋空が広がっている。ラッキー!きょうはツイてるぞ。11人のメンバーで長楽寺駅を出発した。団地の中を抜ける登山口へのアプローチが意外に長い。

登山道を入ると、いきなり深山幽谷のようなほの暗い樹林帯になる。心地よいならかな道も、やがて急な丸太の階段に変わる。ここから苦しい荒谷山が始まるのだ。一段一段を確実に踏みしめて登り、左手に「破暗」の石灯ろうが現れた。何やら文字が刻まれているが、「意味がわからん、ハアーンだね」と駄じゃれを言いながら、やり

過ごして鐘楼から不動院へ。しばし休憩。武田山が目の前に、麓の市街地が、遠くは呉方面の山も見える。

不動院から少し引き返して再び急な登山道に取り付く。テープを頼りに喘ぎ喘ぎやっと稜線に出た。南峰というピークを過ぎ、分岐のある鞍部を過ぎれば頂上まではもう少しだ。荒谷の頂上は展望もなく淋しいところだが、ツクツクボウシが逝く夏を惜しむかのように忙しげに啼いている。お弁当のあとは、寝ころがったり、喋ったり、楽しい時を過ごした。帰路は一気にあさひが



丘へ下りた。会友の瀬藤さん宅で、あたたかきもてなしを受け、彼女の吹くリコーダーの余韻をあとに、バスの客となった。秋の風の中、仲間と歩いた素敵なお一日、里山に万歳!

(記 小林愷子)